

# 有島武郎

Arishima Takeo



## 有島武郎略歴

1878(明治11)年、東京市(現・東京都)生まれ。学習院中等科卒業後、札幌農学校に進学。1903(明治36)年、アメリカに留学。1906(明治39)年、イタリアに留学していた弟で画家の有島生馬とともにヨーロッパを遊学。翌年帰国し、札幌農学校の後身である東北帝国大学農科大学(現・北海道大学)にて教職に就く。またこの時期、武者小路実篤、志賀直哉、弟で作家の里見弴らとともに『白樺』同人となり、作品を発表しはじめる。1916(大正5)年、妻と父を相次いで亡くし、翌年には農科大学を退職。この時期を境に作家活動を本格化させ、『カインの末裔』『小さな者へ』『生れ出づる悩み』『或る女』『一房の葡萄』などの代表作を発表。このほか、童話、戯曲、社会評論、美術評論など多岐に渡って執筆活動を行う。1922(大正11)年、思想と実生活との一元化を求めて、北海道狩太(現・ニセコ町)に不在地主として所有する「有島農場」を、小作人による土地共有と共同運営を前提として無償解放。1923(大正12)年、『婦人公論』記者・波多野秋子と軽井沢にて自死。

## 有島武郎とニセコのかかわり

有島家とニセコのかかわりは、有島武郎の父・武が、北海道の開発を進めるために施行された「北海道国有未開地処分法」によって、1898(明治31)年、マッカリベツ原野(現・ニセコ町)の貸付を国に出願したことにはじまる。武郎は自身の思想から農場所有に疑問を抱いており、武郎が没する前年の1922(大正11)年、農場全体を小作人全員の共有として無償解放することを宣言した。

1924(大正13)年、有限責任狩太共生農団信用利用組合が設立され、武郎が望んだ「相互扶助」の思想に基づいて、農団員の共同運営による形で営農されることとなる。しかし、1949(昭和24)年、占領軍による農地改革の対象となり、農団は解散し、農地はそれぞれの持ち分に就いての私有地となった。同年、旧団員により有島記念館(初代)が開館する。

ニセコは、武郎の作品にも登場している。本能のままに野生的に生きる農夫の姿を描いた小説『カインの末裔』や、木田金次郎をモデルとした小説『生れ出づる悩み』、農場所有をめぐる父子の葛藤を描いた短編小説『親子』もニセコが舞台となっている。

## □アクセス Access



- JR ニセコ駅より  
徒歩約30分(約2.5km)、  
タクシー5分
- バス 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」、下車徒歩5分
- 自家用車 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
[駐車場自家用車用約30台・大型バス用約15台]

## □開館時間 Business hours

9:00～17:00(入館は16:30まで) 9a.m. to 5p.m.(No admittance after 4:30p.m.)

## □休館日 Closed day

- ・毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日休館)  
ただし、夏期は月曜日でも開館する場合があります。当館ホームページ、電話でご確認下さい。
- ・年末年始
- ・Mondays, Closed on the following day if Monday is a holiday
- ・New Year holidays

## □入館料 Admission fee

一般500円(10名以上の団体もしくはJAF会員は400円)、高校生100円、65歳以上のニセコ町民、中学生以下は無料  
・年間フリーパス(発行日から1年間有効) 一般800円、高校生200円  
Adult: 500yen (Group of 10 people or more: 400yen), High school student: 100yen, below Junior high school student and Niseko Resident of 65 years or elder: free  
・Annual free pass (valid for one year from the date of issue)  
Adult: 800yen, High school student: 200yen

## □ミュージアムショップ・ブックカフェ Museum shop/Book cafe

有島武郎の著作や当館オリジナルグッズなどを取り揃えております。また、ニセコ連山を一望できるブックカフェでは当館オリジナルの自家焙煎コーヒーを味わいながら、読書を楽しんでいただくことができます。  
We have many special products here, there are Takeo Arishima's books and other special original goods, etc. In addition, in book coffee shop, that have the Niseko Mountain range view, you can taste original coffee made by ourselves and read books to relax.

イラストレーター・藤倉英幸さんの風景画コレクションや文学、美術をテーマとした展覧会、音楽コンサートなどを年間を通じて開催しております。  
詳しくは当館ホームページ、またはお問合せください。

# 有島記念館

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地  
Tel.0136-44-3245 Fax.0136-55-8484  
arishima@town.niseko.lg.jp

有島記念館

検索



# 有島記念館

北海道ニセコ町

HOKKAIDO NISEKO

ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM

小説家・有島武郎の想いを今に伝える



# 有島記念館案内

Floor Guide



## 常設展示室

有島武郎の生涯や作品、この地にあった有島農場の歴史などを紹介しています



## 特別展示室

当館で作品を収蔵しているイラストレーター・藤倉英幸によるはり絵風景画のほか、文学や美術作品などを紹介する展覧会を随時開催しています

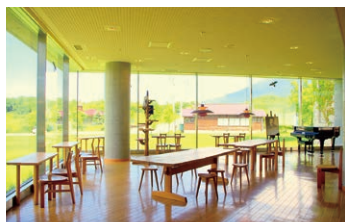


## ミュージアムショップ

有島作品をはじめとした書籍、藤倉英幸作品ポストカードなどの当館オリジナルグッズ、ニセコ地区で活動する工芸作家の作品を取り揃えております

## ブックカフェ

「有島記念館×高野珈琲店」雄大な景色を目の前に、自家焙煎のオリジナルコーヒーを味わいながら読書ができるブックカフェ。営業日はお問合せください。コンサートなどのイベントも開催しています

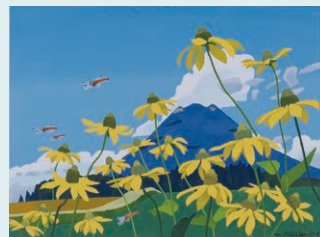


## 展望台

ニセコ連山や羊蹄山、昆布岳、尻別岳などの山々が一望できます[写真は展望台からの眺め]

# イラストレーター・藤倉英幸コレクション

Fujikura Hideyuki Collection



《8月のニセコ》2011年 はり絵

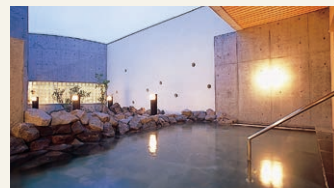


《雪降りの漁村》2011年 はり絵

北海道の風景が持つ四季折々の魅力や空気感を、洋紙を用いたはり絵作品で情感豊かに表現し、見る者を魅了するイラストレーター・藤倉英幸。有島記念館は、藤倉が手がけたはり絵による風景画やポスターなどの印刷物を約1万点収蔵しています。これらの作品は、夏と冬に開催する展覧会でご覧頂くことができます。

## 藤倉英幸

1948(昭和23)年、北海道後志管内島野村(現・岩内町)生まれ。札幌在住。1974(昭和49)年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは本格的に「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとする。JR北海道車内誌表紙画や六花亭「雪やこんこ」のパッケージなどで広く親しまれている。



## 綺羅乃湯

ニセコ駅前にある人気の日帰り温泉です。

# ニセコ町遺産マップ(有島地区周辺)

Niseko-town legacy map (Around Arishima area)

## ① 狩太共生農団入口石碑

当時の農場事務所近くには、現在も「狩太共生農団入口」の碑が遺されています。

## ② 有島記念館

旧小作人によって守られてきた資料と、武郎の思想を後世に伝えるため1978(昭和53)年に設立されました(2代目)。

## ③ 吉川銀之丞顕彰碑

有島農場管理人や農場解放後の「狩太共生農団」理事長として尽力した吉川銀之丞を讃えています。

## ④ 有島ポンド

トウモロコシを尻別川流域に繁殖させるための養殖池です。

## ⑤ 有島第一農場解放記念碑

旧小作人が、解放を宣言した農場主への恩を後世に語り継ぐために、1924(大正13)年に建立しました。

## ⑥ 小説「親子」の坂

有島農場を舞台にした小説「親子」に登場する坂道です。

## ⑦ 有島灌溉溝

有島武郎は、解放後に小作人の生活が安定するよう稲作への転換を考えて、灌溉溝を整備しました。

## ⑧ 弥照神社

1922(大正11)年、有島武郎が小作人を前にして農場解放を宣言した、歴史的な舞台です。

## ⑨ 宮山

「弥照神社」が当初設けられていた小山。有島記念館から宮山まで川沿いに遊歩道が整備されています。

## ⑩ 旧大曲共同墓地跡

小説「カインの末裔」の主人公が、自分の息子を埋葬した共同墓地のモデルとされる場所です。

## ⑪ 王子製紙尻別第一発電所

作家・畔柳二美の小説「姉妹」の舞台になった場所です。



道の駅ニセココンピュータプラザ  
観光案内所や地元野菜の直売や特産品の販売など、注目の観光スポットです。

散歩道

ニセコ駅→小説「親子の坂」→有島第一農場解放記念碑→弥照神社→吉川銀之丞顕彰碑→有島記念館(約4km・2時間程度)